



特別企画

障がい者スポーツに取り組むクラブ



総合型地域スポーツクラブ F-SPO ＜静岡県富士市＞



総合型クラブは、障がい者スポーツの推進などの様々な地域課題の解決に向け、地域スポーツ団体等と連携を図ることが重要となってきます。また、地域コミュニティの核として期待されている総合型クラブは、地域の障がい者がスポーツに親しむことができる環境を今後さらに提供することも望まれております。

そこで今回は、障がいのある方も活動しているクラブについてご紹介いたします。



1 クラブ概要

ACPや吹矢、高齢者向け脳トレ軽スポーツ教室等を開催

平成27年11月に総合型地域スポーツクラブF-SPOを設立し、平成28年5月に特定非営利活動法人F-SPOになり5年が経過しました。設立時は高齢者向けのスポーツ吹矢（現スポーツウエルネス吹矢）と子どもの遊び教室（ACP専門の教室）を開催しました。代表の杉山（筆者）は「総合型スポーツクラブTAC」で平成17年から活動していましたが、平成30年にF-SPOがTACを吸収合併され、現在に至っています。

現在は「大人健康塾」としてスポーツウエルネス吹矢と高齢者向け脳トレ軽スポーツ教室、「子どもあそび塾」としてACPとドッジビー教室を開催しています。吹矢はコロナの影響で活動場所が限られ会員が減少しています。

障がい者スポーツ事業を平成29年から実施

富士市との協働事業として障がい者スポーツ事業を平成28年に提案し、29年から始めました。当初は年に6回程度のスポーツ教室「ふじみなスポ」と障がい者の事業所への「出前講座」、指導者の交流のための「指導者交流会」を実施していました。

今年度より、まちづくりセンターの26講座を委託事業として実施。この講座の中にはアンガーマネージメント、ソーシャルミュージックなど文化的講座も含まれます。また、中高の部活に関わる活動も始めました。

会員数は昨年まで160名でしたが、新型コロナウイルスの影響で退会・休会の方が増え、現在は120名です。



『ドッジビー教室』の様子



『こどもあそび塾(ACP)』の鬼ごっこ(しっぽ取り)

2 障がい者が安全に楽しめるよう創意工夫

初級障がい者スポーツ指導員の資格を取得

障がいのある方から吹矢の道具が欲しいとの問い合わせがあり、道具を提供するだけでなく、総合型地域スポーツクラブとして障がい者の方々にも参加していただくために、筆者が平成27年に初級障がい者スポーツ指導員の資格を取得しました。同時期に三島市身体障がい者福祉会からスポーツ吹矢を会員に広げたいという依頼があり、道具の提供と併せ月2回指導に行くこととなりました。最初は手や足の障がいの方々を対象でしたが、視覚障がい者が加わり、盲導犬を連れて全盲の方も参加しました。的に向かって吹く矢に対して的が見えない方に、無理なく楽しんでいただくために何をすべきか悩みましたが、できないとあきらめるのではなく、的を移動させるなど工夫して吹矢を楽しんでいただきました。「大人健康塾」の吹矢にも障がいのある方の参加があり、現在は、クラブスタッフ3名も資格を取得し、車いすの会員も一緒に吹矢を楽しんでいます。

★障がい者の方々が吹矢に親しむための工夫・注意事項★

- 道具を手で触れていただき、確認していただきました。
- 的に直接触れたり、吹く位置に実際に立っていただき、鈴やブザーのようなものを鳴らして方向を音で感じていただきました。弱視の方には的に照明を埋める工夫もしました。
- 吹く瞬間の方向は、吹く方のすぐ後ろに立ち、筒を上・下・右・左など細かな方向を言葉で伝えます。吹く瞬間は軽く背をたたき、その合図で吹きます。
- 的に当たるとそれなりの音が聞こえて「当たった」と感じ取れます。当たらなければ遠くの壁に当たる音が聞こえますし、的の外側にあるバックボードに当たると音が大きく聞こえます。的に当たった時は「今のは〇点です」、「中心より〇時の方向に〇センチです」などと正確な位置を伝えます。また、呼吸法が重要ですので、指導員が後ろで「吸う」「ゆっくり吹く」「思いっきり吸って、一気に吹く」などの動作も伝えます。

スポーツ教室「ふじみなスポ」で障がい者が無理なく多種目を体験

静岡県障害者スポーツ協会が障がい者スポーツ教室を県内3会場で開催していましたが、地元富士市にはありませんでした。できれば富士市内で開催し、公認指導者を市内で集められないか思案していたところ、富士市で障がい者スポーツの事業提案を受け入れていただくことができました。障がい者スポーツ教室「ふじみなスポ」ではフライングディスク、ボッチャ、ミニトランポリン、ランニング(陸上競技)、リズム体操、手のひら健康バレー、卓球などの種目を、事前に指導者の都合等を考慮して年間の実施日程を決めて行っています。8月からはパラチアの指導者も加わります。参加者は市内の小学生から一般の方(50歳代)までいらっしゃいます。今年度の参加登録者は12名です。会場がコロナ対策のため、運動する定員は20名となっていて増やせない状況です。障がい者8~9名、付き添い者5~6名、スタッフ5~6名です。事業にかかる費用は富士市からの委託費で賄っています。今年は5月から月1回「ふじみなスポ」と12回の「出前講座」を実施するようになり、順調に回数を増やしています。障がい者スポーツに取り組み始めた当初から、障がい者のスポーツ実施機会を増やすとともに、公認の障がい者スポーツ指導者の活動場所の確保と経験の場を増やすことを目指してきました。その結果、現在は10名以上の指導者を確保できました。

「できない」ではなく「できる」方法を考えて実施

今年度は、募集から運営までのほとんどをクラブで行っていますが、周知面では広報紙に掲載していただくなど行政にも協力を得ています。「出前講座」ですが、コロナの影響で現在は限られた施設での実施になっています。場所が事業所内でスペースも広くないため、限られた競技しかできませんが、ストレッチや体操を主体に実施し、他にボッチャを加えています。事業所が主な実施対象でしたが、事業所が運営している障がい児の児童クラブでも運動機会をつくってほしいとの要望があり、昨年から障がい児の放課後クラブや特別支援学級の運動教室に出向くようになりました。

障がいの度合いは人それぞれ違いがあり、同じ状況の方はいらっしゃいません。教室を開催するにあたり、その方々に合わせて対応するだけでなく、「できない」ではなく「できる」方法を考えることで安全に楽しんでいただけるよう創意工夫しております。指導者の方々もそれぞれ得意の種目で指導の幅を広げ、楽しんで指導にあたっています。



障がい者スポーツ教室『ふじみなスポ』の
ボッチャの様子



『おとな健康塾』のスポーツウエルネス吹矢の様子

「ふじみなスポ」は障がい者スポーツ教室として開催していますが、付き添いのご家族も一緒に参加していただいています。参加者本人の障がいの特徴やできること・できないことを一番理解されているご家族に参加いただくことで、私ども指導者が障がい者の方それぞれに合った対応ができますので、ご本人も安心してスポーツに親しむことができます。障がい者ならびにご家族との信頼関係が築けていると考えます。

土日開催のため、場所と指導者の確保で苦心

しかし、参加者が固定化して同じ方に偏ってしまう現状があります。また、コロナ禍の影響により、施設の定員が決まっていることもあり、新たな参加者を増やせない状況です。障がい者は平日ですと移動手段がないため、教室開催はどうしても土日になります。大きい体育館の土日は各種競技大会があるため使用機会を増やせない悩みがあります。対策として、今後は複数力所で実施できるよう計画しております。

指導員も土日に活動できる方が多く、スポーツ教室はどうしても土日になります。「出前講座」は平日の日中に実施しておりますので、指導員は限られてしまいます。これを解消するために、昨年からの仕事の第一線から退いた方々に指導員として加わっていただき、少しは活動を増やせることが可能になりました。

障がい者が待ち望む「ふじみなスポ」と「出前講座」 依頼事業所から感謝の声も

「ふじみなスポ」と「出前講座」の活動が、障がい者にとって待ち遠しい存在となっています。障がい者の方々が教室活動を楽しみにしてくれているのは、クラブ側にとって大変うれしいことです。「出前講座」の依頼先の事業所の方からは、「参加者が生き生きとした表情で運動しており、(来て指導してもらい)良かったです」との声もいただいています。また、「出前講座」は年間の回数が限られていますが、「経費が事業所負担となってもいいので毎月開催してほしい」という事業所もあり、定期的に運動する機会を提供することの重要性が評価されていると感じます。

障がい者が有ってもなくてもスポーツを楽しむことができる環境を提供することが重要と考えるようになり、障がい者と健常者が一緒にできるスポーツを今後も企画していきます。また、障がい者スポーツの指導を経験したことで、高齢者の方々への指導にも共通する要素があることが分かり、それを高齢者への指導に反映できるようになりました。

障がいの有無や性別関係なくすべての人々が一緒にコミュニティづくりを進めていきたいと考えます。

障がい者だけのスポーツの取り組みではなく、障がい者と健常者が一緒にスポーツをするコミュニティづくりの場として、今年度は市内の2カ所のまちづくりセンターでボッチャの活動を毎月複数回開催しています。現在、障がい者と健常者が日曜日に一緒に競技し、木曜日は健常者だけで実施しています。来年3月にはボッチャ交流イベントを開催する計画です。

文化活動と学校部活動支援も視野に

今後はスポーツクラブとしてできることを率先して進めていくとともに、文化的な活動も増やしていきたいと思います。また、今年度は中学校の外部部活動として、クラブが得意とするフライングディスク(アルティメット)を学校の運動場を利用して指導する活動を開始しました。ちなみにアルティメットは男女一緒にプレーできる競技です。この試みを踏み台に、総合型クラブが学校部活動を支援する新たな展開を模索していきたいと考えます。

(総合型地域スポーツクラブF-SPO 代表・理事長 杉山 克秀)

クラブプロフィール

設立年月日 平成27年11月19日(平成28年5月2日法人登記)

所在地 静岡県富士市

運営 会員数120名(令和3年3月現在)、予算規模400万円(令和2年度)

特徴

- ・ 利用できる施設(10カ所の公共施設)で、その地域の方を集めて活動しています。
- ・ マイナーなスポーツを中心に楽しんで体を動かしています。
- ・ 文武両道を基本に活動中です。

連絡先 〒417-0055 静岡県富士市永田町1丁目11番地
 TEL 0545-52-6088 FAX 0545-52-6338
 URL <http://f-spo.la.coocan.jp/>
 E-Mail sugi_yama@nifty.com